



落一地域センターだより No.93

こんにちわ 落合

令和7年夏号



OCHIAI

編集・発行*落合第一地域センター管理運営委員会広報部 ☎ 161-0033 新宿区下落合4-6-7 ☎ 3954 - 1611

飛躍!

地域の核として

5月30日(金)令和7年度の臨時総会に於いて、落合第一地域センター管理運営委員会会長に下落合四丁目町会長でもある福澤栄二さんが就任されましたので抱負を伺いました。

この度、落合第一地域センター管理運営委員会会長に就任いたしました福澤栄二と申します。

開館より今日に至るまで、地域コミュニティの中心拠点として、諸先輩が築き上げてきた歴史と伝統を大切にしつつ、これまでの経験と教訓を生かしながら、地域の核としてより一層多くの皆様に愛され、御利用いただけるよう運営に取り組んで参ります。



さて当センター開館30周年の佳節を目前にひかえ、今年度は記念す

べき第30回地域センター祭りを、令和8年3月に実施する予定です。

管理運営委員会が中心となって、皆様の様々なご意見・ご要望を伺いながら子どもから大人まで喜んでいただける盛大な催しを計画したいと考えています。どうぞご期待ください!

一方で、近年は気候変動が原因とみられるゲリラ豪雨が頻繁に発生しています。また大地震がいつ発生してもおかしくないとも言われています。そうした災害時には、緊急避難所としての機能も果たすべく、落合第一 特別出張所との連携も密にしながら、安心・安全な地域センターづくりに微力ながら全力で取り組んで参る所存でございます。

何とぞ温かいご指導・ご協力を賜りますようお願いいたします。

落合第一特別出張所

所長 高井 剛



4月から落合第一特別出張所長に着任しました、高井です。これまで産業振興・

文化観光に携わってまいりました。落合地域は、閑静な住宅地と豊かな緑に恵まれ、文化人にも愛された素晴らしいまちであり、落合第一地域センターが文字通りその中心的存在となつていふことを着任早々ながら実感しています。

こうした良き風土と伝統を受け継いでいくためにも、最も身近な役所であり、地域の一員として、職員一同、皆様と「共に動いて」まいります。今後とも、ご指導、お力添えのほどよろしくお願いいたします。

主査 長谷川 雅章



4月1日付で落合第一特別出張所に着任しました長谷川と申します。

初めての本庁舎外の勤務となり、慣れない部分も多々ありますが、本誌「こんにちわ落合」の『わ』の由来のとおり地域の「和」や、そこに集う人の「輪」を大切に職務に取り組んで参りたいと思っております。どうぞよろしく申し上げます。

運営委員会だより

臨時総会 役員改選



5月30日に行われました臨時総会にて管理運営委員会の役員と部会構成が決まりましたのでお知らせいたします。

役員



会長 福澤 栄二(下落合四丁目)

副会長 大塚フジエ(中落合一丁目)

堀内 芳仁(下落合一丁目)

会計 浅見美恵子(下落合一丁目)

竹内 稔(中落合一丁目)

監事 村上 雄三(下落合一丁目)

伊藤 芳弘(中落合一丁目)

相談役 岡田 幸男(上落合一丁目)

部会

総務部



部長 浅見 幹夫(下落合一丁目)
 副部長 大矢 良子(下落合一丁目)

企画部

部長 川俣多賀子(下落合四丁目)

副部長 田邊 良子(下落合三丁目)

広報部

部長 鈴木 良子(下落合四丁目)

副部長 新井 桂子(中落合一丁目)

毎月、役員・各部正副部長と落合第一特別出張所から高井所長・長谷川主査が出席して役員会を行っております。

総務部



登録団体意見交換会を予定しております。

地域センター管理運営委員会では皆様のご意見をお聞きして、地域の方々に愛されるセンター作りを目指しております。

多くのご意見を是非「目安箱」にお寄せ下さい。

企画部

夏休み子ども教室



毎年大人気の「夏休み子ども教室」を、8月22日(金)に開催いたします。

涼しい地域センターで、夏休みにお友達と楽しい一日を過ごしてみませんか？

詳細は、後日各町会・地域センター内に掲示してお知らせします。

11月 バス見学会

12月 カルチャー教室

1月 センター寄席

2月 新春コンサート



右記の行事を企画しています。お楽しみに！

ご紹介しました予定を含めて、落合第一地域センター管理運営委員会の催しの詳細は、各町会の掲示板等でお知らせします。

問合せ 地域センター事務局

☎(3954) 1611

広報部



地域センター広報誌「こんにちわ落合」をお読みいただきありがとうございます。先日「こんにちわ」は「こんにちわ」ではないのかという指摘がありました。

この広報誌「こんにちわ落合」は、

このセンターが地域の核となり、ここに集う人の「輪」、地域の「和」を繋いでいきたいという、願いをこめて命名いたしました。

皆様に楽しんでいただける広報誌作りを目指しておりますので、これからも「こんにちわ落合」をご愛読いただければ幸いです。

広報部長 鈴木 良子

←スマートフォンはこちらから



落合第一地域センターは、地域のみなさんのコミュニティ活動や情報交換の場としてご利用いただく施設です。お気軽にご来館ください。

地域のお知らせ

地域の催しは、ポスター等でもお知らせします。

気軽ににご参加ください。



【盆踊り】

落合第一地区内の、各町会が主催する盆踊りの日程です。今年もたくさんの方に楽しんで頂けるよう、各町会が準備をしております。ぜひ覗いてみてください。お待ちしております！

の後、公園内の全面改修工事が始まります。

◆下落合東町会

8月16日(土)
おまつり広場(目白通り沿い)
午後6時～

【ラジオ体操】

夏休み、朝の始まりはラジオ体操で心も体もスッキリしよう！
各校とも6時30分開始です。



★落四小・落合中・東京富士大学

避難所開設訓練

8月31日(日)

★落一小避難所開設訓練

9月7日(日)



詳しくは掲示板・ポスターをご覧ください。

第45回落合第一地区

コミュニティスポーツ大会

11月3日(祝)落合中学校におきまして、恒例となりました落合第一地区コミュニティスポーツ大会が開催されます。

競技種目

- ・ビーチボールバレー
- ・輪投げ(50歳以上の部)
- ・輪投げ(一般の部)
- ・ユニカール



昨年各競技で大熱戦が展開されました。今年もたくさんの方のご参加をお待ちしております。

◆上落合東部町会

8月1日(金)・2日(土)
落二小校庭 午後6時～

◆中落合二丁目町会

8月2日(土)・3日(日)
西坂公園 午後6時～
西坂公園は中落合2丁目の盆踊り

◆下落合町会 知久会

7月19日(土)
清水川橋公園 午後5時30分

◆下落合四丁目町会

7月19日(土)・20日(日)
下落合公園 午後6時～

●落合第二小学校

7月19日(土)～7月25日(金)
(雨天中止)

●落合第四小学校

7月28日(月)～8月1日(金)
(土・日を除く・雨天中止)

【防災訓練】

★落二小避難所開設訓練

7月21日(月)午前8時30分



決定!

落一交歓会 バス旅行

10月12日(日)

みんなで行こうよ!

詳細は 後日 町会掲示板でお知らせします

主催：落合第一地区町会連合会
共催：落合第一地域センター管理運営委員会

おちあい歴史散策

落合の歴史について記事を書くことになり、昨年私の孫が生まれた「聖母病院」について調べてみました。

「聖母病院は、キリスト教の愛の精神に基づき、国籍や信仰、貧富に関わらず、医療を必要とする全ての人々に国際病院として奉仕することを理念としています」とあり、

1929年(昭和4年)聖母会の前身である「マリア奉仕会」が建設に着手。1931年(昭和6年)「国際聖母病院」として開院。スイス人ヒンデル氏の設計による本館が完成。

1943年(昭和18年)「聖母病院」に改称。1945年(昭和20年)「東京大空襲」米軍機による空襲をまぬがれる。この事で諸説あるが病院への爆撃はキリスト教会のために空爆は行われなかったとか、また、フィンデル本館の屋上へ焼夷弾が命中しているが延焼による火災はまぬがれたとか、分厚いコンクリートが爆弾をはね返し、たいした被害はなかったようだとか伝わっています。

もうひとつ、敗戦直後に聖母病院めがけてパラシュート付きのドラム缶に詰めた救援物資が投下されたとかの話が多く聞きました。

1950年(昭和25年)救急病院に指定。1952年(昭和27年)運営母体が「社会

福祉法人聖母会」に変更。1998年(平成10年)療養型病床群開設。最近では落合第一地域本部管轄で唯一医療救護所を設置している避難所(落合第二小学校)の医療救護所に関する体制内容が変わり、

本年12月中には医師を必要とする怪我などは、災害拠点連携病院となっている聖母病院に直接運び、医師による手当を受けられるようになる予定です。



写真は1932年(昭和7年)の聖母坂からの風景で、開院して間もない貴重な写真です。現在の写真と比べて無電柱化等大きく変わっている事がわかります。

この取材を通して、地域の重要な病院と再認識できました。実は私もこの病院で生まれました。



歳時記 マダニ

初夏の候、青葉若葉の季節などは六月の時候の挨拶文ではあるが、今年はずでに猛暑日が続き、早くも熱中症や農産物の被害が出ている。異常気象は虫の世界にも影響を与えている。外来種の増加や在来種の移動拡大が懸念されている。

主に西日本で広がっているマダニによる感染症が、関東地方や北日本にも広がり、ペット愛好家達に恐怖を与えている。

マダニ(大形吸血性のダニ)は体長2〜8mm、吸血後は最大2cmにもなる。元々、草むらに生息し野生動物に寄生していたものが、牛や馬などの家畜から猫や犬などのペットとその愛好家達まで広がっている。

マダニを媒介するウイルスは人獣共通感染症の重症熱性血小板減少症候群(SFTS)で、その症状は発熱、嘔吐(おうと)、下痢など。致死率はヒトで30%、ネコだと60%にもなるという。又、感染したネコを入院治療にあたった獣医師の死亡例もある。

予防法としては、ネコの場合は室内飼いを基本とし草むらには

近づけない。都内の公園も要注意である。

野外へ出した後で体調不良になったら、すぐに獣医師の診察を受け、自身もペットの体液には絶対に触らない。ケージを消毒して手袋やマスクを着用すること。

東京都獣医師会は、獣医師向けのマニュアルや感染防御の動画をつくり備えているという。

危険な虫は、マダニだけではない。**蚊【カ】**メスは、吸血し病原体を媒介する。(マラリア、デング熱、日本脳炎)

蠅【ハエ】ハエ目短角亜目に属する昆虫の総称で、伝染病を媒介する。幼虫は「うじ」

ゴキブリ(御器かぶり)の転、ポリオウイルスなど伝染病を媒介、夜行性で暗所を好む。世界に約四千種が分布、日本には54種が生息

夏は、この他にも人畜に直接害を与え、又は作物などを害し人間生活を不快する害虫が闊歩している。

夏来たる

マダニうごめく

草の影

